

ニーズ

人口減少・超高齢化社会による本市の課題解決に繋がる各種サービスの導出と実装を官民連携で目指し、「人がつながり幸せを作る快適未来都市」の実現と、全国の地方都市の手本となる活動を共に進めていける企業を探しています。

実現したい都市のビジョン

荒尾市の強みである「暮らしやすさ」を活かしながら、①先端技術や情報通信技術の積極的な活用であらゆるモノや情報が「つながり」、新たな価値を生み出し、暮らしの利便性が高いまち（Society5.0の実現）、②人や地域コミュニティなど「つながり」を維持・充実させることで、暮らしの安心感が高いまちを目指す。

旧荒尾競馬場の跡地を含む34.5haの広大な未利用地の土地区画整理事業のエリア「あらお海陽スマートタウン」では、「道の駅」「保健・福祉・子育て支援施設」「民間事業者による各種利便施設」「公園・緑地」「集合住宅・戸建住宅」などを整備中である。当該エリアはグリーンフィールド型のスマートシティの実現のため、スマートシティの取組みを『荒尾ウェルビーイングスマートシティ』、エリアをリビングラボとして位置づけている。「ヘルスケア」「エネルギー」「モビリティ」「データ活用」「防災・見守り」等のスマートシティの機能を埋め込み、Society5.0を体感できるまちにすることで、ヒト・モノ・コト・カネ・情報が集まるまちを目指している。

さりげないセンシングによるスマートヘルスケア（日常人間ドック、リコメンドサービス等）、エネルギーの地産地消、自治体MaaS（オンデマンド相乗りタクシー）、パーソナルデータエコシステム等々の技術による各種サービスの創出など多様な先進技術の導入により、「住民が最先端のウェルビーイングを享受できる快適未来都市」を実現したい将来像として設定している。

課題・目標

? 【取組分野】①交通モビリティ

【課題・目標】

- 路線バス等の利便性低下の抑制
- 公共交通の維持に要する財政負担増加の抑制等



解決・実現の方向性



解決・実現の方向性 次世代モビリティ・システム（自動運転移動サービス公共交通など）

- 自動運転を活用した路線バス等の公共交通における最適な交通モードの構築
- 次世代自動車（EV等）の導入促進によるエネルギー・マネジメントとの連携

? 【取組分野】①①都市計画・整備

【課題・目標】

- 都市機能の中心拠点への誘導・集約、地域公共交通網の適正化、環状骨格道路を軸とした地域内幹線道路の整備
- 地域高規格道路「有明海沿岸道路」整備後の交通シミュレーションによる可視化
- 荒尾駅停車場線のウォークアブル空間実現に向けた景観、整備シミュレーション
- 自動運転EVバス導入における検討・活用



解決・実現の方向性

- 3D都市モデル、MMS等三次元位置情報を活用した自動運転EVバスへの実現可能性検証
- 3D都市モデル、MMS等三次元位置情報を活用した道路・上下水等インフラ維持管理
- 景観、建築物等整備シミュレーション技術
- 交通・人流シミュレーション技術

■あらおウェルビーイングスマートシティが描く、荒尾市の将来像

荒尾市で今後想定される問題

人口のさらなる減少によって・・・
 賑わいの低下 産業の担い手不足
 地域経済衰退 医療費の高騰
 子育て環境悪化 交通機能低下
 空き家増加 ...

取り組む課題（重点戦略）

1. 切れ目のない充実した子育て環境をつくる
2. 雇用の確保と所得の向上で安定した暮らしをつくる
3. 誰もがつながりを持ち、健康でいきいきとした暮らしをつくる
4. あらおファンを増やすとともに、移住しやすい環境をつくる
5. 先進的で持続的なまちをつくる

重点施策

南新地ウェルネス拠点整備事業
 (競馬場跡地の再開発事業)

スマートシティ事業
 (ヘルスケア+エネルギー+モビリティ+α)

ニューノーマル時代への適応

生活
 健康意識、衛生意識 働き方
 健康志向、節約志向 オンライン会議
 非三密、アウトドア活動増 リモートワーク使い分け
 家族第一志向 ワークेशन/漫遊
 好きな地に居住 ワークライフバランス

消費
 現金からキャッシュレスへ
 テイクアウト・デリバリーのさらなる発展
 近場、自然、静かな場所へ旅行 ...

■ まちの将来像・ビジョン

